

## 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の選手および関係者に対する 新型コロナワクチンの接種に関する日本ワクチン学会の見解

新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の流行により1年間延期された東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京2020）の開幕が、2021年7月23日に予定されています。

ホスト国であるわが国はCOVID-19の流行の制御を目指す努力を継続しており、同様にCOVID-19と対峙する世界の国々から選手および関係者が入国する機会となります。このCOVID-19の流行への対策の柱の一つとして、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対するワクチン（以下、新型コロナワクチン）の接種が国内外で進められています。

東京2020の選手および関係者に対する新型コロナワクチンの接種につき、日本ワクチン学会として以下のように見解をまとめました。

- ① 東京2020は、オリンピックとパラリンピックを合わせて、日本の選手およびチーム役員が推計で約1,500人、海外から参加する見込みの大会関係者が約7.8万人<sup>1)</sup>、選手およびチーム役員は約2.8万人という大きな国際大会です。前回2016年のブラジル・リオデジャネイロでのオリンピック・パラリンピック競技大会前に発生したジカウイルス感染症の流行は記憶に新しいところです<sup>2)</sup>。2015年に山口県で開催された世界スカウトジャンボリーでは、髄膜炎菌感染症の発生が見られました<sup>3)</sup>。これらは、国際的マスギャザリングにおける感染症の発生に対する備えの重要性を再認識させられた事例です。
- ② 本学会も名を連ねる予防接種推進専門協議会では、安心して国際的なイベントが国内で開催できる環境を整えていくために、国際的マスギャザリングにおける感染症対策として、ワクチンで予防可能な疾患（Vaccine Preventable Diseases: VPD）に対するワクチン接種を柱に据えています<sup>4)</sup>。これに基づき、東京2020の選手および関係者に対して、麻しん風しんや髄膜炎菌をはじめとする各種ワクチンについて、年齢や職種、役割に応じて啓発、接種の必要性の検討、接種機会の創出等が考慮されるよう要望してきました<sup>5,6)</sup>。
- ③ COVID-19の流行が国内外で引き続く状況であり、東京2020はそのような中で開催されることから、これまでの大会にないレベルでの感染症対策が求められています。COVID-19の流行を制御する手段としてワクチンが位置付けられ、現在、世界中で接種率の向上に向けた取り組みが続けられています。東京2020組織委員会・国際オリンピック委員会・国際パラリンピック委員会もまた、選手や大会関係者、およびメディア等に向けたプレイブックの中で、COVID-19への対策としてのワクチンの重要性を訴え、接種を推奨しています<sup>7)</sup>。本学会は、国際的マスギャザリングにおける感染症対策、およびCOVID-19への対策という観点から、これを支持します。

- ④ 国内的には優先順位に従ったワクチンの接種が加速しつつあるところではありますが、東京 2020 の日本の選手および関係者は、大会開催前の時点では接種の対象にはならないと認識されていました。しかしながら、2021 年 5 月 25 日の報道から、寄付によりワクチン確保の見通しがついたものと理解いたします。
- ⑤ COVID-19 の流行が始まってからのこの約 1 年半の期間の中では世界的に見ても最大級の国際的マスコガザリングである東京 2020 において、参加する各国の選手および関係者の健康を守り、安全を確保するために、まずは日本の選手およびチーム役員、ボランティアやメディアを含む大会関係者への新型コロナワクチンの接種を可能な限り迅速性をもって進めていくべきと考えます。さらには、「メディアを含めた大会関係者へのワクチン接種について強く推奨する」との国際オリンピック委員会（International Olympic Committee: IOC）から各国の国内オリンピック委員会（National Olympic Committee: NOC）に対する要請が実効性を伴って浸透していくことを期待します<sup>1)</sup>。
- ⑥ 新型コロナワクチンについて、海外における膨大な接種実績に加えて、わが国でも医療関係者を中心とした接種におけるデータの積み重ねにより、安全性に関する知見も深まっています。ただし、大会本番を直前に控えた選手にとっては、副反応に対する懸念も少なくなく、接種自体を忌避する場合もあると思われます。選手および関係者への接種に際しては、一人一人の心配や不安な気持ちに配慮し、接種後、および接種を選択しなかった場合のケアも含めて、医学的なデータに基づいた説明やサポートが肝要であることは言うまでもありません。
- ⑦ 東京 2020 に向けて、現状では新型コロナワクチンの接種が喫緊の課題となりますが、②に挙げた各種のワクチンの重要性は普遍的です。東京 2020 以外の場面においても、今後、新型コロナワクチンおよび各種ワクチンの接種が、個々人の接種歴や罹患歴、その他の要因に応じて検討され、必要に応じてスムーズに進められていくことが必要です。そのためには、現状の、「新型コロナワクチンは単独で接種し、他の種類のワクチンの接種とは 14 日以上の間隔を空ける」というルールを、諸外国に倣って撤廃<sup>8)</sup>すべきと考えます。

**結論：** 日本ワクチン学会は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に参加する日本選手およびその関係者に対する新型コロナワクチンの接種を慎重かつ迅速に進めていくことを、支持します。

以上。

<文献>

- 1) 東京 2020 第 45 回理事会 資料 - 報告事項. 東京 2020 組織委員会 :  
<https://gtimg.tokyo2020.org/image/upload/production/khx5x1ovddhboxegjmux.pdf>. 2021 年 5 月 26 日掲載、2021 年 5 月 31 日閲覧
- 2) Projected Zika Virus Importation and Subsequent Ongoing Transmission after Travel to the 2016 Olympic and Paralympic Games - Country-Specific Assessment, July 2016: Ardath Grills, Stephanie Morrison, Bradley Nelson, et al. MMWR. 2016 Jul 22;65(28):711-5.
- 3) 世界スカウトジャンボリー（山口県）に関連したスコットランド隊員およびスウェーデン隊員の髄膜炎菌感染症事例について, 国立感染症研究所 Website:  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/bac-megingitis-m/bac-megingitis-iasrs/5878-pr4272.html>. 2015 年 8 月 25 日掲載、2021 年 5 月 31 日閲覧
- 4) 症状からアプローチするインバウンド感染症への対応～東京 2020 大会にむけて～. 日本感染症学会 Website : <https://www.kansensho.or.jp/ref/>. 2021 年 5 月 31 日閲覧
- 5) 第 32 回オリンピック競技大会（2020／東京）、東京 2020 パラリンピック競技大会の円滑な運営のための感染症対策に関する要望書（小池百合子 東京都知事 宛）. 予防接種推進専門協議会 Website : [http://vaccine-kyogikai.umin.jp/pdf/Tokyo-Olympics-and-Paralympics\\_request\\_to\\_Tokyo-Governor.pdf](http://vaccine-kyogikai.umin.jp/pdf/Tokyo-Olympics-and-Paralympics_request_to_Tokyo-Governor.pdf). 2021 年 4 月 6 日掲載、2021 年 5 月 31 日閲覧
- 6) 第 32 回オリンピック競技大会（2020／東京）、東京 2020 パラリンピック競技大会の円滑な運営のための感染症対策に関する要望書（橋本聖子 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長 宛）. 予防接種推進専門協議会 Website : [http://vaccine-kyogikai.umin.jp/pdf/Tokyo-Olympics-and-Paralympics\\_request\\_to\\_Organizing-Committee-Chairman.pdf](http://vaccine-kyogikai.umin.jp/pdf/Tokyo-Olympics-and-Paralympics_request_to_Organizing-Committee-Chairman.pdf). 2021 年 4 月 6 日掲載、2021 年 5 月 31 日閲覧
- 7) 安全・安心な東京 2020 大会 - 東京 2020 プレイブック第 2 版を公表. 東京 2020 組織委員会 : <https://olympics.com/tokyo-2020/ja/news/news-20210428-04-ja>. 2021 年 4 月 28 日掲載、2021 年 5 月 31 日閲覧
- 8) Interim Clinical Considerations for Use of COVID-19 Vaccines Currently Authorized in the United States: Coadministration with other vaccines. CDC Website : [https://www.cdc.gov/vaccines/covid-19/clinical-considerations/covid-19-vaccines-us.html?CDC\\_AA\\_refVal=https%3A%2F%2Fwww.cdc.gov%2Fvaccines%2F covid-19%2Finfo-by-product%2Fclinical-considerations.html#Coadministration](https://www.cdc.gov/vaccines/covid-19/clinical-considerations/covid-19-vaccines-us.html?CDC_AA_refVal=https%3A%2F%2Fwww.cdc.gov%2Fvaccines%2F covid-19%2Finfo-by-product%2Fclinical-considerations.html#Coadministration). 2021 年 5 月 14 日掲載、2021 年 5 月 31 日閲覧

日本ワクチン学会

理事長	岡田 賢司				
役員	明地 正晃	石井 健	岩田 敏	奥野 良信	五味 康行
	砂川 富正	園田 憲悟	高崎 智彦	竹田 誠	田中 敏博
	多屋 馨子	中野 貴司	中山 哲夫	長谷川 秀樹	原 めぐみ
	宮崎 千明	森 康子	森内 浩幸	吉川 哲史	

(五十音順)